

一般質問
8議員登壇

市政を問う

7月の市長選に向けて

市長／市民の支援を頂いていると思っ
ている



五位塚 剛 議員

五位塚議員 市長として再選されたが、今後4年間の決意と基本的政策は何か。

池田市長 誠実・行動・元気を政治信条として、活力に満ち心豊かでいつも夢と希望のもてる、元氣な曾於市の創造を目指したい。

問 市長選挙としては、3003票差で当選されたが、新聞報道でもあるように、選挙戦の終盤で自民党の森山国会議員が3日連続で強い後押しがあったと書かれているが、これがなかったら得票差

はもっと少なかったのではないか。

市長 3003票の差がつけば市民の大きな支援を頂いたと思っている。1票差でも勝ち負けはある。

敬老祝金は全員支給を

問 市長選挙や市議選での市民の声は、敬老祝金については、70歳以上全員支給を望む声が多いと考える。新年度から対応できないか。

市長 長寿祝金については、節目支給を始めて5年が過ぎた。節目支給を尊重しながら5歳きざみで支給し、90歳以上は全員支給することを検討している。

問 今まで節目支給は合

併協議会で決まったことであるからと一貫した答弁であった。節目支給の変更や90歳以上の全員支給の見直しであるから、白紙に戻すと考えて良いか。

市長 白紙に戻すことはない。マニフェストで支持を得たものと考えている。

柳迫小校区の駐車場を確保せよ

問 柳迫小前に市営住宅が数軒建設され、地域活性化に大きな役割を果たしている。そのため駐車場が少なくなり、運動会や夏祭り、その他の行事、火災時の消防団の駐車場を含めて不便をきたしている。対応は考えられないか。

市長 学校行事や公民館行事も多くあるが、学校周辺の空き地を利用されている。学校や校区公民館から特に相談などもない。

年末を迎えての 市民生活の状況は

問 長引く不況、そして年末に入り市民生活はかつてない厳しい状況になっている。実態をどうとらえているか。

市長 売り上げ不振や利益減少の会社が調査によると8割となっている。雇用関係でも大変厳しいと思っている。

問 中小企業、商店街、農家、年金暮らしの方への支援策は考えられているか。

るか。

市長 商工会員へは設備投資への利子補給や緊急雇用対策商工借入金の保証料の補助、農家へはJAを通じて利子補給を行っている。

問 住宅リフォーム事業について、補助事業を受けやすいように広報など改善すべきではないか。
市長 広報紙や有線放送で広く知らせていく。大工さん等が仕事しやすいよう支援する。



柳迫小隣接地

地域の環境保全対策は

市長／環境保全が地域の活力の
バロメーター



杉雄 議員

迫議員 危険廃屋解体

撤去補助金交付状況はどうか。今後、どのように対応されるか。

池田市長 危険廃屋解体

撤去補助事業は、本年度中に市内業者の施工により、廃屋の解体撤去を申請実施した者に対し、対象事業費の3割、30万円を上限に補助する制度であり、臨時の経済対策事業を財源として、1500万円の事業費を計上した。

12月10日現在の補助制度の申請者は15件で補助金額は301万6千円で



廃屋撤去前



廃屋撤去後

ある。この制度は平成21年度限りの制度である。
問 今回は単年度であるが、平成22年度に向けても地域の景観並びに環境保全のため事業を継続する考えはないか。

市長 危険廃屋撤去については、まちおこしのためにも、今後前向きに対応する。
問 市道高所支障物除去事業（高所やぶ払い）についての取り組みについて伺いたい。
市長 高所支障物伐採除去は、所有者に伐採要請を行いながら、自力での伐採ができない箇所は、市で直営作業にて実施している。
次年度についても、直

営の高所伐採委託を新たに予算化し、交通障害箇所の解消に努める。

住民参画による協働のまちづくり

問 住民参画のまちづくりについて、市民の意向や施策の反映を把握し、点検されているか。

市長 人口減少、少子高齢化が加速する中、地域住民との協働のまちづくり推進は、今後も重要な課題と認識して、「農地・水・環境保全向上対策事業」等を実施し、点検を行いながら、協働のまちづくりを進めている。

問 地域、集落の格差がないように、集落再生整備基本方針を定める考えはないか。

市長 自治会検討委員会等で議論する。

問 集落や自治会において、職員の集落サポーター制度等については、どのような議論がされているか。

市長 職員による集落サポーター制度は、地域の



住民参画による環境保全対策事業

実情を把握し、地域住民とともに地域の活性化に寄与する制度である。集落サポーターについては他の自治体があるような制度を実施していることは承知している。

本市でも過疎化、人口減が進行する中、集落機能が低下していくので、必要性は感じているところであり、今後、自治会検討委員会で議論していく。

平成22年度の予算編成は (過疎自立促進法を含む)

市長／国の動向を見守りながら編成していく



久長 登良男 議員

久長議員 当初予算の過疎自立促進法との関係はどうなっているのか。

池田市長 現行の過疎自立促進法は、平成22年3月末で期限切れとなるが、政府は3年程度の延長を検討しており、平成22年の通常国会に議員立法で



インフルエンザ集団予防接種

提出の方針である。従って、本市の平成22年度予算は、関係各課に対して過疎法は延長されるものと想定して、予算要求するよう指示している。

問 政府の行政刷新会議の事業仕分けによる影響は考えられないか。

市長 地方の自治体に、現段階ではどれくらいの影響があるのか判断でき

ないので、今後の国の動向を見守りながら対処していきたい。

問 自主財源比率は、いくらぐらいを考えているか。

市長 平成21年度当初予算での自主財源比率は21・9%であった。平成22年度も前年並みになるものと考えている。

問 奉仕作業で学校や自治会等で清掃が終了した

後のゴミ対策についての対応は、どのように考えているのか。

市長 清掃作業等で刈った草や木は、それぞれの自治会等で処分をお願いしている。どうしても処分できないところについては、市で管理している土地に搬入し、仮置きして、産業廃棄物処分場で処理している。

新型インフルエンザの現況は

問 市内の学校、職場等の現況はどうか。

市長 12月2日までの市内感染者の累計は、小学生が170名で全体の8・82%、中学生は102名で全体の8・95%が感染している。保育園では33名の報告があった。

職場では、感染報告は受けていない。また一般会社等については、市への報告義務がないため、把握はしていない。

問 今後の対応策はどのように考えているか。

市長 小学生以下については、曾於市医師会のご協力を頂き、集団予防接種を実施することになった。

農業振興策は

問 畑地かんがい事業が進み、新規作物の取り組みの考えは。

市長 水利用効果の高いショウガやサラダゴぼうについて、試験栽培を行っている。

問 既存の作物の考えは。

市長 曾於市営農ビジョンで推進品目を定め10年後の目標を設定している。

問 お茶価格の低迷に対して、何か対策は考えられないか。

市長 お茶の新植、改植経費に対する無利子の融資制度の活用を推進し、また機械や施設整備については、国県の補助事業の導入による支援を行っている。また茶業振興会の要望を踏まえて検討する。



水利用によるショウガ栽培

事業仕分けの影響は

市長／子育て応援特別手当事業が廃止



瀬戸口 三郎 議員

瀬戸口議員 国の政権が代わり本年度予算への影響で、中止や減額された事業と来年度予算編成の方針について示せ。

池田市長 減額された事業は「子育て応援特別手当事業」の3196万1千円の全額である。

今後、事業仕分けでどうなるのかはつきりしない。来年度の予算編成作業については、市職員一人ひとりが苦しい財政状況下を認識し、長期展望に立った財政運営を進めていく。

大隅八合原地区の振興策は

問 大隅八合原台地の道路や排水路対策は。

市長 八合原台地道路及び排水路等検討委員会、市道、農道等整備について検討している。道路5路線、排水路5



整備が始まった八合原台地の排水路

路線、農道等を計画し一部着工している。

問 八合原地区にコミュニティセンターのような公的施設が必要であるが、建設できないか。

市長 曾於市総合振興計画で、大隅農産物加工センターを掲げており、建設する。

また、市の施設として職員を配置し併せて会議室等、今後検討委員会を設置し、場所や財源について調査協議を進めていく。

防災行政計画は

問 大隅曾於地区消防組合の今後の施設整備計画を示せ。(特に北部署の八合原への移転建設について)

市長 北部署の高規格救急車、消防ポンプ車の更新、末吉、大崎分駐所の設置。また平成23年度には曾於市防災センターを計画しているので進めていく。

道路行政は

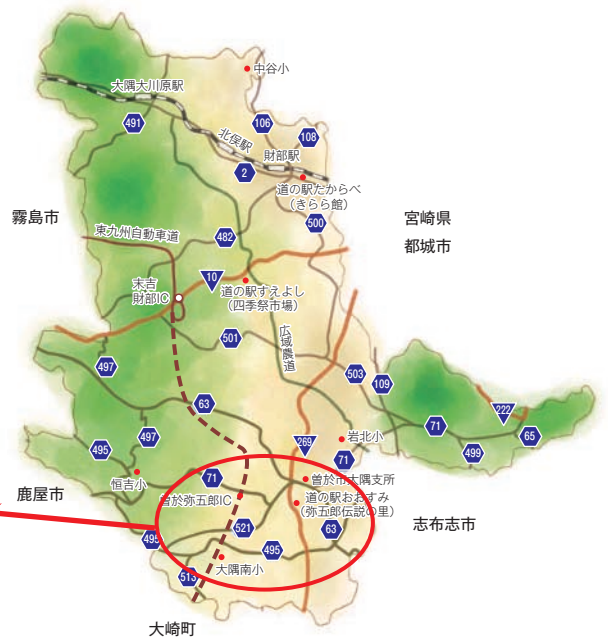
問 大隅南地区の2つの野菜流通センターから東九州自動車道「曾於弥五郎インター」へのアクセス道路として、県道宮ヶ原停車場線(別府〜飯田間)の重要度が高まっている。本路線の一部を市道として改良出来ないか。

答 この道路は県道であるが、延長も長く整備箇所も多く、財政的問題から最小限の整備しかできないとのことである。

しかし平木入り口から別府の交差点までの



曾於弥五郎 IC 周辺地図



大崎町

約1300mは、大型トラック等の往来も困難で、危険な状況であり、曾於地区土木協会の要望項目に取り上げて県に要望していく。

フラワー公園づくりはやめよ

市長／今後、計画・実施していきたい



徳峰 一成 議員

徳峰議員 市長は所信表

明でつつじなど植える公園建設を表明した。しかし、市の財政は厳しい。市長は新年度に国保税の値上げの意向である。今どき公園は建設すべきではないのではないか。

池田市長 この計画は私



花房峡憩いの森

にとつて選挙の公約である。今後数年かけて、計画、実施していきたい。
問 市内の各施設は毎年7〜8億円の赤字である。その一つ、末吉町の花房峡憩いの森は、平成20年度の収入263万円、支出は1237万円である。

新たな公園建設で、これ以上財政を圧迫すべきでない。本日市長は中止を表明して頂きたい。そうでなければ、今後私は繰り返し中止を要求して取

り上げざるをえない。

市長 曾於市の観光の場、市民の憩いの場として公園は必要と考える。私の施策を市民は理解して頂けると思う。

敬老祝金の全員支給を

問 市民や高齢者は70歳以上の全員支給ではなく、市長の節目支給の手直し案を支持しているとお考えか。

市長 そのように考えて

いる。

問 共産党議員団は超党派で3月市議会に70歳以上の全員に支給する条例改正案を提案したい。市長は議会の結論を尊重されるか。

市長 尊重したい。

高くて払えない税金の減免等を

問 市民税、固定資産税、国保税など税金等の未納（滞納）額は総額で5億円に近い。不況と生活苦で払えない方も多い。税金の減免について、川崎市などを参考に直しを検討すべきではないか。

市長 市の財政は厳しい。検討自体はしたい。

問 市は以前課税していなかったトラクターなど農機具まで償却資産として課税している。これらについては、減税対策の立場で減免すべきではないか。

市長 市の財政に余裕はなく、減免は考えていない。

旧大隅町の道路整備の引き上げを

問 市内では旧大隅町の道路整備が遅れている。例えば大隅町にしか見られない集落道は、市は調査を行い、積極的に整備を進めるべきではないか。

市長 全体の調査を行い、計画的に整備を進めたい。県道の整備も大隅町は進んでいない。市道への一部編入と整備の見通しが立たない県道の一部

については、市と県で共同して整備することはできないものか。

市長 市の財政は厳しく、それはできない。

※1・超党派

党派的利害を超えて、関係者が一致協力すること。

※2・償却資産

工場や商店の経営、農業をしている方が、その事業に用いることのできる施設、機械、器具、備品のこと。



農作業に使用される農機具

国民健康保険特別会計の現状は

市長／大変厳しい状況にある



山田 義盛 議員

山田議員 国民健康保険特別会計の来年度の財政見通しは。

池田市長 歳出見込額60億7400万円に対して、歳入見込額約59億1700万円となり、約1億5700万円の歳入不足を生じる見込みであり、税率改正及び一般会計からの繰り入れについて検討を要する。

(税率据え置き、医療費の伸び率5%、基金残全の基金繰り入れ5200万円のとぎ)

問 来年度の国保被保険者一人あたりの保険税は。

市長 現行税率では、一人あたりの保険税は約6万5千円である。歳入不足を補うために、一般会計から約7千万円を繰り入れた場合、税率を10%引き上げる必要があり、一人あたりの保険税は約7万2千円となる。

問 平成22年度以降の当該会計の見通しは。

市長 税収及び国庫支出金が現状で推移した場合、毎年度2億円を超える赤字が予想される。

(単位：円)

	決算額		繰越金 ③=①-②	基金取り崩し額④	基金残高	単年度収支 ⑤=(①-前年度③-④)-②	一人当たりの医療費 (一般・退職)
	歳入①	歳出②					
17年度	5,445,671,686	4,990,526,181	455,145,505	△ 12,426	512,411,682	△ 201,221,896	232,826
18年度	5,820,805,617	5,456,437,045	364,368,572	0	512,411,682	△ 90,776,933	244,042
19年度	6,064,600,784	5,993,628,193	70,972,591	0	512,411,682	△ 293,395,981	258,689
20年度	5,733,631,865	5,680,976,387	52,655,478	135,000,000	377,411,682	△ 153,317,113	267,803

※単年度収支の歳入は、決算額の歳入より前年度繰越金及び基金取り崩しを差し引きした額です。
※平成20年度決算額については、老人医療拠出金等が後期高齢者医療制度へ移行したため、減額となっています。

国民健康保険の実績

長寿祝金は

問 市長は支給年齢の間隔を見直すことは検討するが、全員支給は考えていないとの答弁があるが。

市長 節目の77歳を75歳、88歳を85歳にした5歳さざみの支給、そして90歳以上を全員支給することを検討している。なお、5歳さざみの支給で今までもらわれていない方については、変更時に調整することを考えている。初年度に約4千万円の新たな予算を要する。(初年度は現在の予算約3200万円に約4千万円増の約7200万円、次年度からは現行に約1千万円増の約4200万円となる。)

問 今の苦しい市民生活を考えると国保税値上げ等、これ以上市民に負担をお願いすることは、限界にきていると思う。市民にとって有効な税金の使い途は、長寿祝金の一部見直し(新たな財源約4千万円投入)なのか、

それとも市民の健康と生命を守るために避けて通れない国保会計の財源確保なのか、そのどちらが優先されるのか。

市長 長寿祝金、国保会計どちらも大事な施策である。国保税については不景気の中で被保険者に全てを求めめるのではなく、一般会計からの繰り入れもやむを得ないと考えている。



七村地区敬老祝い会 (財部町)

学区の見直し及び 統合問題は

市長／地域の要望を踏まえて検討する



渡辺 利治 議員

渡辺議員 学区の見直しは。

植村教育長 現行通りでいく。

問 学区外の通学を把握しているか。

教育長 把握はしていないが、教育的関連による変更はある。



平成 17 年 4 月に 4 校統合した大隅中

問 中学校の統合問題について。

教育長 曾於市学校規模適正化検討会で、中学校は財部（財部中・財部南・財部北）と末吉（末吉中・南之郷中）の統合を考えている。

問 小学校の統合はぜひ避けるべきであるが、当局の考えは。

池田市長 中学校統合後、地域の要望を踏まえて検討する。

市職員の時間外勤務の現況は

問 各課平均残業時間は。 **市長** 43 時間であるが、課によって差がある。

問 代休など納得いく措置はされているのか。

市長 厳しい財政状況から時間外勤務手当の満額支給はできていない。

問 今後も職員の減数はあるが、対応はどうするか。

市長 課、係の統廃合により対応する。イベント等は全庁的な取り組みでいく。

川内団地の道路 拡幅を

問 駐車場は確保されているか。

市長 昭和 55 年から 62 年にかけて、9 棟 176 戸あり、各戸 1 台分確保している。

問 現在の車社会にあわないが、駐車場の確保対策は。

市長 1 号棟と 2 号棟の間に 28 区画を計画し、まもなく着工する。また、隣の畜産指導センターを利用できる。

問 北側の通路の目的は何なのか。

市長 住棟の北側は、駐車場を取り込んだ計画をしている。

問 北側の通路は狭く、防災、避難など救急車や消防活動に支障をきたすと考えるが、市の考えは。

市長 現状では縦列駐車があり、活動等に支障がある。

問 隣接の樹木の中に不法投棄があり、景観上好ましくなく、拡幅してきれいにする方法はないか。

市長 長期的な公営住宅の維持管理計画を策定し、有効活用を検討する。



川内団地の北側通路（末吉町）

県道塚脇財部線の未改良区はどうか

市長／県へ継続して要望していく



山下 諭 議員

村地区600m、帯野地区700m)が未改良区として残った。
理由は、県はセツト区間を組んで事業を実施しており、今年の工事でのセツト区間の工事が終

了したとのことである。今後は要望に対し、事業評価(優先度基準)、これは必要性、重要性、緊急性、効率性、熟度(地域の協力、事業に対する合意形成等を加味)の5つの要素により選定し事業実施になるとのことである。
この未改良地区区間の整備については、県へ曾於地区土木協会(曾於市、志布志市、大崎町で構成)

要望項目として取り上げて継続して要望していく。
坂元宅地分譲予定地の現況は

問 平成19年に策定された第1次曾於市総合振興計画実施計画に、定住促進整備事業として財部地区が計画され、候補地を財部坂元地区と決定し、現計画では21年度用地等経費、22年度40区画の整備費が計画されている。
また当地への反対要望書も提出されていると聞いている。現況はどうなっているのか。



整備予定の中須団地(財部町)

公営住宅の整備は

問 財部地区内の公営住宅整備の見通しは。

市長 中須団地は全戸数55戸であるが、昭和39年度建設分15戸を解体し、22年度に隣接民有地購入と実施設計、23年12戸、24年に10戸、計22戸を建設する。

財部町内新規団地については、現在用地を物色中で、地域住宅交付事業として、平成23年度からできるよう要望する予定である。

山下議員 9月議会でも質問したが、県道塚脇財部線の上村地区600mの改良計画はないとのことだった。帯野地区700mは当初よりない。現在上村地区は最終工事が行われているが、現場の状況から見るとなぜ改良しないのか理解に苦しむ。詳細な説明と今後の市の対応は。

池田市長

塚脇財部線の総延長は16・5kmで、霧島市内4・3km、改良済み3・8km(88%)、曾於市内12・2km、改良済み10・9km(89%)で、曾於市内は1・3km(上



改良が待たれる塚脇財部線上村地区

市長 当初計画どおり同意を得ることができず、最終的には9名の地権者13筆、面積13,039㎡の田売却の同意を得て、これを実施することとし、平成21年5月8日に仮契約を締結し、22区画を予定している。
その後坂元自治会と周辺の方より「稲作並びに畜産経営に支障をきたし、今まで保全していた景観が損なわれる」として計

画地変更の要望書が提出された。このため、地元説明会も実施した。現在は個別に訪問し理解を頂くよう説明している。
問 市が仮契約まで締結しているという意味は大きいという認識を持つべきである。今年の水稲作付けの問題はどう対応していくのか。

市長 農振地域除外、宅地への転用、取得に対するの議会への同意、設計業務を考えると平成22年度の造成は難しいので、作付けをお願いしていくことになると思う。